



## 1. OIST-Keio Showcase vol.10 “Diverse Approaches to Fluid Dynamics” 開催

理工学研究科 流体力学研究創発センターの研究者とOISTの流体力学系の各ユニットの研究者が集い、流体力学をめぐる多様なアプローチについて議論しました。理工学部生・大学院生も30名以上が現地参加し、口頭発表やポスター発表を行い、OISTの教職員や学生と交流を深めました。（3月）

## 2. KGRI “Hidden Jewelsから未来への提言『普遍的な価値を言語化する』” 開催

KGRIでは、慶應義塾の気鋭の研究者と研究の魅力を発信しています。今回は、ジャーナリストの堀潤氏をモデレーターに迎え、Hidden Jewelsシリーズに登場した研究者が集い「普遍的な価値を言語化する」をテーマに、分野の垣根を超えた熱い議論を展開しました。（3月）

## 3. ディープテックの「死の谷」を越える対話の場 「慶應義塾イノベサロン」開催（4月～7月）

ディープテック（先端技術）には事業化直前でリソースが途絶する「死の谷」が生じます。その課題を解決し、研究成果にとどめず、社会を変える産業へと発展させるために、フュージョン・バイオ・量子分野などのスタートアップ、資本、政府研究機関が集結し、社会実装への道筋を議論を議論します。（4月～）

## 4. X Dignityセンターが「これからのデジタル倫理考えよう！宣言」および新組織の設立を公表

アテンション・エコミーの行き過ぎによる偽・誤情報や誹謗中傷の拡散・増幅、AI生成動画等による「もっともらしい情報」の遍在など、様々な課題に立ち向かうため、多様なステークホルダーが集い、領域横断的な対話を通じて、健全な情報空間を構築するための新組織を立ち上げると発表しました。（3月）

## 5. YILユニットシンポジウム（第1回）— 情報・AI・光・量子 — を開催

YILは理工学研究科の研究ユニットの最新研究をYIL産学連携アライアンス会員企業向けに提供する「YILユニットシンポジウム」（第1回）を開催しました。情報、AI、光、量子関係のユニットの協力のもと、企業・自治体・大学関係者100名超が参加し、研究成果の共有と活発な議論が行われました。（3月）